

# 地域の畜産関係者や試験研究機関が連携する畜産クラスター事例 ⑨ 長野県

やつがたけ なんろくほうぼく きょうぎかい  
八ヶ岳南麓放牧協議会

放牧酪農への転換により、生産コストの低減を図るとともに、酪農産物の差別化・ブランド化を図り収益力向上を実現

## 畜産クラスター

### 生産者集団

- ・JA信州諏訪(生産者等調整、技術指導等)
- ・長坂放牧研究会(技術支援)

### 行政関連、事業進行

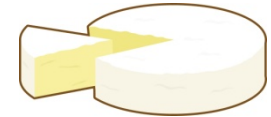
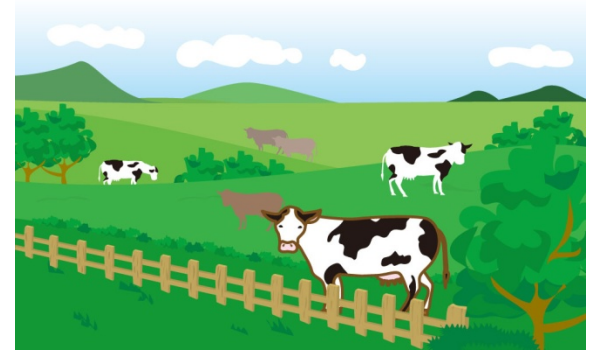
- ・(公財)農村更正協会
- ・八ヶ岳中央農業実践大学校(事務局、実証農場)
- ・諏訪農業改良普及センター(技術支援)
- ・山梨県畜産普及センター(技術支援)

### 畜産経営支援

- ・日本畜産草地種子協会(広報等)
- ・全農長野県本部畜産課(JA、生産者、教育ファーム等調整)
- ・長野県畜産協会(経営分析・支援等)

### 飼養管理技術支援

- ・信州大学農学部食料生産科学科(技術支援)
- ・山梨県酪農試験場(技術支援)
- ・東日本くみあい飼料(NON GM飼料供給等)



## 実証内容

○放牧酪農における、配合飼料等の購入飼料の節減効果、簡易退避舎等施設への低投資の実現、家畜行動学に基づく、省力化に向けた実証等を行うとともに、生草の接種等による生乳の機能性向上と加工への連携を実証  
この結果を踏まえ、八ヶ岳南麓地域への放牧の普及を図り生産コストを削減

## 効果

### 【生産性の向上】

生産コストの30%削減  
経産牛650千円/頭 → 455千円/頭

### 【高付加価値化】

放牧生乳を利用した機能性乳製品(チーズ、ヨーグルト)の製造

地域全体で17.6百万円の収益増

### 【地域の収益性向上】

90頭数 × 195千円 = 17.6百万円